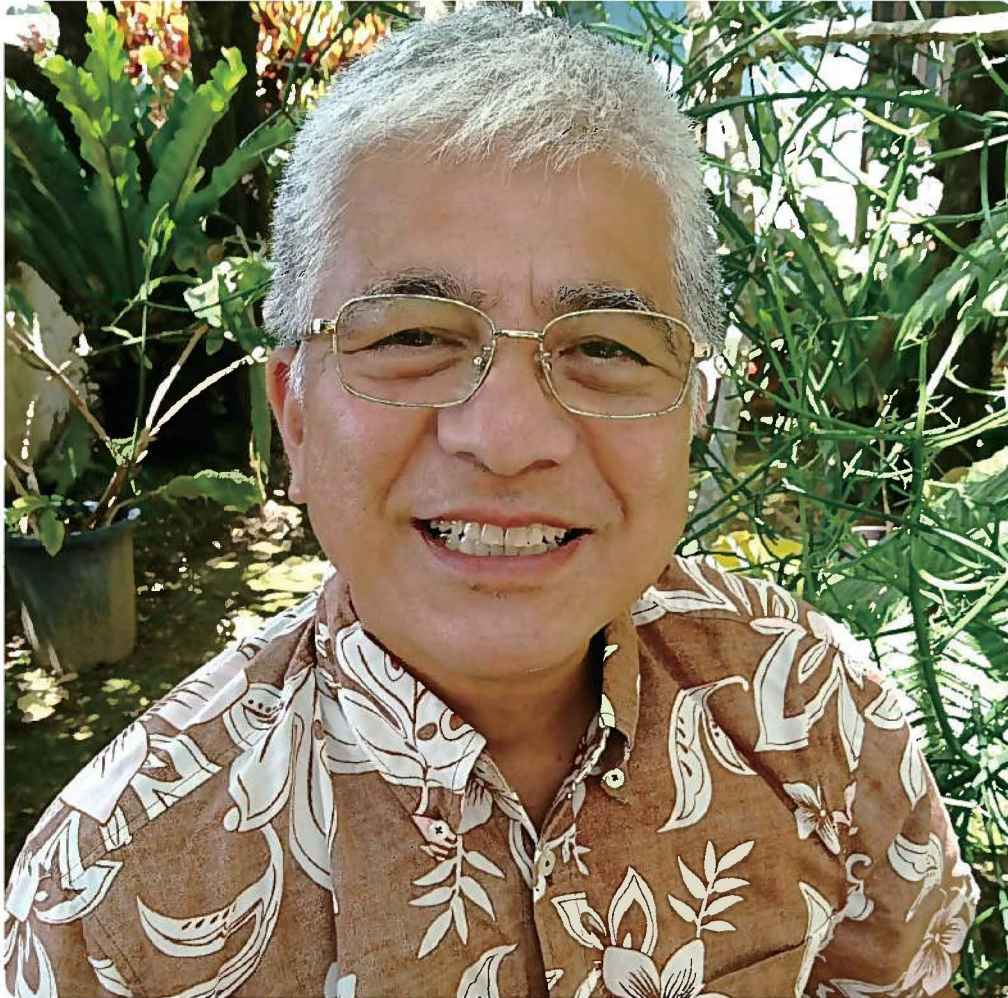


Ambitious アンビシャス



解決できなくとも、
話を聴いてもらう事で
心は安らぎます！

表紙は語る
「多系統萎縮症」

アンビシャス通信

6月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ第28回

『患者学』 加藤 眞三教授

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

患者団体からのおたより

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシャス広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

患者・家族交流会のお知らせ

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

ハローワーク那覇

「難病患者就職サポーター」による

出張就労相談のご案内

「難病患者就職サポーター」

からのご挨拶！

表紙は語る 照屋 正宏（てるやまさひろ）さん 多系統萎縮症

解決できなくとも、話を聴いてもらおう事で心は安らぎます！



北谷町営の運動施設でリハビリ中

発症は2年ほど前、滑舌が悪くなり、軽いふらつきが続く「軽い脳梗塞かな」と思い、近くの外科専門の診療所でMRI検査してもらったところ「おそらく多系統萎縮症ですね。県立中部病院の内科を紹介します。」と診察した医師は私にこう告

げました。脳梗塞を疑っていた私にとっては聞いたこともない病名で、意外な診断結果でした。そこで紹介状を手に県立中部病院で再びMRI検査をしたところ「多系統萎縮症で原因不明の病気です。」と診断。結局のところ根治する治療

薬は無く、脳の血流を良くし、脳神経の働きを改善するといわれているビタミンB12を与えられただけででした。その後、中部保健所で難病の受給者証なるものを発行して頂きました。

「貴君の症状は運動、交流、読書等をする事によって現状を維持する事ができます。」と若い医師に言われました。現在は無職でもあり運動と読書は北谷町の無料の施設を利用して

しています。しかし、交流となると簡単にはいきません。気の合った友人に限定しては本来の交流にはならないと思います、自治会の主催する無料の映画鑑賞会、素人のカラオケ大会、断酒会等人が集まる場所に積極的に参加しました。

酒も飲まないのに私が断酒会に参加するのは、なるべく多くの人のいろんな悩みを聴き、参考にするためです。交流でもストレスを感じてはいけなさと医師から言われていて、出来るだけストレスを感じる人

は避ける様にして、余分なエネルギーを消費しない限り、また嫌な人がいない限り積極的に参加しました。現在、私の住んでいる地域は、若い人が少なく北谷町の中でも過疎化している場所です。ここには一人暮らしの孤独なお年寄りが多く、その様な方々に積極的に声を掛け、自分のためにも話し相手になるよう心掛けています。

交通の手段としては基本的に歩く事ですが、それが無理なら公共のバスがあります。私にとって杖は己のためではなく、相手が己の事を知るためのものであり、杖を持つことで転倒が予防でき、相手に己の身体状況を前もって知らせる事ができます。外観上の私は健康そのものです。軽く挨拶のつもりで肩を叩かれ転倒したらシャレにもなりません。また見た目には健康そうに見えるのに思うように体が動かない。そんな私を家族さえも「甘えているんだ」と、理

解してくれないのがとても辛いです。

まだ60代前半ですが要介護2の認定を受けました。発症する以前、私は介護タクシーの運転手をしていました。いろいろな障害をお持ちの方を支える仕事をしていた私が、まさか介護認定を受けるとは想像もしていませんでしたが、これも運命かなと思います。介護度にもありますが、幸いなことに去年から要介護認定されたことで福祉に要した業者への支払いは、掛った費用の1割を負担するだけでよい事になりました。その制度を利用して家の内外に転倒防止のための手すりを付けてもらいました。もし、みなさんも手すりの取り付けや、段差の解消などの住宅改修が必要になった場合は、理学療法士に状況を確認してもらってください。素人には分らない介護のプロならではの意外な指摘が必ずあるからです。ただ難点は地域にもよるのでしようが、業者を忍耐強く待たなければいけない事です。仮に手すりが出来上がる前に転倒で怪我でもしたら、それこそ本末転倒です。行政上の手続きがあるから仕方ないと言つても、出来るだけ早くして貰いたいものです。私は手紙を出したり、預金の引き出しに郵便局を良く利用するのです



捨て猫を飼い始めて、
いつの間にか立派な猫派

が、以前は郵便局が近くにあり、歩行に難のある私にとっては便利だったのですが、諸般の事情で引越しました。現在は郵便局まで歩いて30分、バスだと5分くらいの距離で、遠くはないが近いとも言えません。歩行に難があり移動もままならない身には、郵便局を含め公共機関は近い方に限ります。

次に内面の話ですが、私を含め障害をお持ちの方や、一人暮らしのお年寄りの方に共通する悩みは「誰でもいいから自分の話を聴いて欲しい、遮らず、コメントせず、ひたすら聴いて欲しい、解決できなくとも話を聴いてもらう事で心が安らぐのです。」福祉の学校では「傾聴」と呼び座学で教えられるそうです。

この病気になる学んだ事はたくさんあります。確かに病気になる事は愉快な事ではありません。ただ少なくとも難病を患ったことで、少しでも弱者の気持ち理解出来る様に

なった事は、自分の一生の中で健康な人には分らない、貴重な体験をした事になります。特に病気を患う前の私は障害のある方や社会的に弱い立場の方々に対し「上から目線」で接していたのだと思います。

以前の私は、若い頃に空手で体を鍛えていたこともあり、体力には自信があり何でも出来ると思っていました。うぬぼれていたのでしょうか。高慢なところがあつたかもしれません。沖縄の方言でいう「※コオサー食わされた。」のでしょう。難病を患い今まで出来たことが段々出来なくなり、自尊心は粉々に打ち砕かれました。

があつたのです。

またこれまで「自分だけが大変なのだ」とばかり思っていました。が、セミナー参加の難病の方には私よりも大変な人達がいる事を知り、深く考えさせられました。そしてその様な状況でもみんな前向きに生活している姿に接し感動しました。

セミナーは難病を抱える者にとつてとても有意義でかつ実際の生活の中で役に立つものでした。

機会があればみなさんも参加してみてください。

私の書いた文が少しでも難病を抱えたみなさんの励みとなれば幸いです。覚えていてください。痛みを知らない、経験したことがない人は、往々にして上から目線になりがちです。私がそうでした。

※「コオサー」…沖縄方言ゲンコツ（ゲンコツをされた）

語者プロフィール

照屋 正宏

(てるや まさひろ)さん

1955年12月北谷町生まれ

【趣味】

ラジオを作る

【挑戦したいこと】

沖縄方言を覚える（習う）

【好きな動物】

以前は犬派だったが現在は猫派

6月の報告

あれこれ

非常時電源確保勉強会



台風シーズンを前に6月7日（水）「どうする？非常時の電源確保」と題して今年も災害時等非常時の電源確保の勉強会を開催しました。講師を照喜名センター長が務め、在宅療養支援者やご家族の方など20名近くの方が参加されました。

在宅で医療機器を使用している方々にとり、台風等の災害時の電源確保は生命にかかわる重大事です。勉強会では非常時の自力での対応に加え、熊本地震などを例に支援者のスキルアップの重要性を強調し具体的な援助の課題について話しました。

また停電時に役立つグッズの紹介、カーバッテリーを使用した電源確保の方法や発電機の使い方の体験もしていただきました。

入院中の患者様のご家族からは、「退院に向け発電機の事を知りたいと思っていたので、いろんな対応策が聞けて少し安心しました。」との感想を頂きました。今後も電源確保や発電機設置のご相談を通して、それぞれの療養者や支援者が自助の力を高めるお手伝いをする共に、地域で支える「共助」の仕組み作

りを支援者の方々と考えていきたいと思っています。



難病コミュニケーション研修会

A L S等の難病で意思伝達が困難な方を支援する関係者、家族のみな様を対象に、平成24年より継続の「難病コミュニケーション研修会」を、今年も6月24日（土）に開催し、約60名の方の参加がありました。

研修会では、N P O法人ICT救助隊の今井啓二氏、仁科恵美子氏、パナソニックエイジフリー（株）からレッツ・チャット開発者の松尾光晴氏を東京からお招きし、透明文字盤、口文字の使い方、レッツ・チャットの紹介・体験、スイッチの種類や困難事例のヒントについて、実践を含めたご指導をいただきました。透明文字盤のパートでは文字盤

を手に参加者全員で体験。長文を読み取る難しさや目の疲れを実感しながらも、慣れるとかなり速いスピードで短文を読み取ることができ、参加の皆様からも色々な気づきや工夫点が出てきました。

その後の機器を使用した意思伝達方法のパートでは、患者様に合う意思伝達装置の選択以上に、その機器を動かすスイッチの選択の重要性を強調され、様々なスイッチの導入事例の紹介がありました。また同じスイッチをずっと使い続けるのではなく、患者様個々の症状の進行に依りスイッチも変えていく等、使用方法を工夫することが一番大切であることを学びました。ともすれば機器の機能だけに目が向きがちですが、患者様は自分の意志を伝えたいのであり、その為には手の指、足の指、舌先のあらゆる部



位を使い、押す、引く、触れると、そ4の方が出来る方法を考えるのが支援者の役目だとも強調されました。3時間の研修では時間が足りず、講師の方の説明も参加者の方々のご質問も物足りなさがあり、来年度は2日間に渡るより充実した研修会を検討したいと思っています。

各患者総会で経過措置終了に関する勉強会を実施！

6月末に経過措置終了に伴う勉強会を開催しましたが、まだまだ対象の方々に浸透しているとはいえず、また各患者会の幹部のみな様もこの状況に危機感を持たれ、ご要望のあった「全国膠原病友の会沖縄県支部」6月11日、「沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会」6月18日、「全国筋無力症友の会沖縄県支部」6月25日と各団体の総会で照喜名センター長を講師とした勉強会を実施しました。

日程の関係で全ての患者会とはいきませんが、当誌面でも繰り返しご案内していますので、関心のある方は過去の紙面またはアンビシャスホームページのTOP画面「難病情報」をクリックして「3年間の経過措置終了について」よりご確認ください。

ホームページリニューアル後、スマートフォンからもアンビシャスホームページは閲覧できますのでこちらも合わせてご確認ください。

こころの現場から

孤独が最も人を弱くする

人を最も弱くすることは孤独だとわたしは思っています。難病を抱えていても、余命が宣告されていても、死に瀕していても、自分の存在を認めてくれて大事に想っていてくれるだろうと感じられる誰かが傍らに居たり、ころの中に存在していたりすると心安らぐ瞬間もあるでしょう。

他者との関わりがあってもそれが酷評だったり意図的な無視だったり単なる使い走りとか金の出所としての存在だったりすると、孤独と言えるでしょう。孤独になると、話し相手ほしさに悩み相談の電話にかけたり、ひたすら時報に電話をかけていたり、迷惑メールが送られてきたりすることだけでも誰が必要としてくれていると感じてしまう（端から見ると誰かからのメールが送られてくるという態度に見えるので、それが自分の存在価値を高めると勘違いしてしまう）場合が実際にあります。だからこそ、孤独や寂しさにつけこん

だ詐欺が横行しているのですし、最愛の人を亡くした時に自分が生きる意味を見いだせず後を追うようになってしまうことも昔からあるのでしょう。

コミュニケーションツールが発展したことによつて、生身の人間同士の本質的な関わりが減っておりすが、それでも想いが一緒であると感じられることはしばしばあります。例えば同時刻にメールをしていたり、連絡をした際にお互いを想っていることが認識できたり、目の前にいない人のために尽力したり募金したり。人は本質的に孤独や痛みを知っているからこそ、人にやさしくできるのです。そしてまた人のやさしさを知っているからこそ、つながりあい助け合ふのです。

自分の存在自体が、ほんの少しでも相手の存在し続ける価値になる、そのような人間関係も素敵ですね。



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つばやまチャペル

他災みて自力を備える

今年の沖縄の梅雨は、終盤に豪雨による停電地域もありました。また今年はデイゴの花が多く咲き、昔からの言い伝えによると台風が多い年になるのではと心配です。一方、九州では7月の記録的豪雨により多数の犠牲者が出て、多くの方が避難生活を余儀なくされています。一刻も早い復旧を祈るばかりです。

ところで私達はこの様な災害をどこか遠くの事と捉えていないでしょうか。日々の生活を当たり前のごとく過ごしていますが、災害に襲われるとその普通の生活が失われてしまいます。特に、疾患などが原因で人工呼吸器を装着している難病患者の方については、家は無事でも、停電になっただけで人工呼吸器という生命維持装置は停止して命の危険が生じます。

あなたの家が停電になったら、どのように照明を確保しますか？ 援助を求めるための携帯電話の電源は確保できますか？ 災害情報をどうやって知るのであるか？ 救援隊はすぐには来てくれないのです。日頃から地域の自治会との関係を深め、援助を求めやすい環境は出来ていますか？ 等々、何れにしろ自分の身は自分で守る事が必要となります。今直ぐ万全の体制とはいきませんが、先ずは他の地域で起きた災害を知る事です。

さらに、想像してみましよう。そしてその

備えを整えていきましよう。アンビシャスは
はそのお手伝いを一緒に考え行動します。



著：照喜名 通



シリーズ「患者学」第28回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

小林麻央さんの生き方に学ぶ

ブログ「KOKORO.」
による連帯

乳がんで闘病されていた小林麻央さんが、2017年6月22日夜に旅立たれました。麻央さんは自分がかんであることを公表し、ブログ「KOKORO.」上で闘病する日々の生活で感じたことを書きつづてこられました。200万人を超える読者が麻央さんの文章に胸をうたれ、生き方に共感し、励まされ勇気づけられました。

麻央さんは、英国のBBCから人々に感動を与えた100人の女性の一人として選ばれました。選ばれたことは麻央さんの素晴らしい素晴らしさを表わすエピソードですが、さらに素晴らしいのは、その際にBBCへ寄せた麻央さんの手記の内容です。

ご自分が病気であることを受け入れた上で、病気が自分の人生にとって自分を代表することではないと宣言し、病気に支配されない彩り豊かな人生を送り続けたのです。インターネット上に簡単に探せますの

で、是非、BBCの手記の原文(日本語版もあり)もお読みください。

病気を包み隠して生きるよりも、それをオープンにすることを選択した結果、麻央さんは共感者をえることができ、むしろ彼等に支えられたと、次のように表現しています。

私は、闘病をBlogで公表し、自ら、日向に出る決心をしました。すると、たくさんの方が共感し、私のために祈ってくれました。そして、苦しみに向き合い、乗り越えたそれぞれの人生の経験を、(コメント欄を通して)教えてくれました。私が怖れていた世界は、優しさと愛に溢れていました。今、100万人以上の読者の方と繋がっています。

このようなネット上において自分を公表し多くの人と連帯していく有様は、これからの新しい時代の闘病のあり方の一つの見本となるのではない

でしょうか。ドイツの心理学者シュートハート氏が述べる、危機への直面から脱出する螺旋階段によくあてはまり、受容、活動、連帯へと繋がっていく過程が上手く書かれています。

失敗にも学ぶ

麻央さんの闘病は必ずしも順調なものではありませんでした。2016年9月4日の開設当初のブログには「解放」と題して、次のように書かれています。

私も後悔していること、あります。
あのとき、
もっと自分の身体を大切にすればよかった
あのとき、
もうひとつ病院に行けばよかった
あのとき、
信じなければよかった
あのとき…
あのとき…
あのとき…

健康な人にも、病気は突然訪れます。病気にどう対処すればいいのか、じっくりと考える間もなく、次から次へと色々な決断を迫られます。小林さんが亡くなった後に、あ

すべきだった、こうすべきだった、これはやってはいけないなどと論評すべきではありません。腫瘍発見当初の対処の仕方、治療の選択など、それぞれの時点で精一杯のことをやってこられたに違いありません。

しかし、患者学の立場からは、自分が病気になったときに備えて、どのようなことができるのかを考えてみることは大切ではないかと考えます。このような選択肢もあった、あのようにしておけば後悔しないですんだ、などを次号では考えてみたいと思います。

次号に続く

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85~88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。

患者の力: 患者学で見た医療の新しい姿
出版社: 春秋社

「患者には力がある!」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なこととは。



東洋経済オンラインに加藤先生による
「市民のための患者学」2週間ごとの連載配信中!
<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>



沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2017年8月の

各団体定例会・交流会スケジュール



団体名	日(曜日)	時 間	場 所
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	9日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階
沖縄県網膜色素変性症協会(JRPS沖縄)	11日(金)	14:00~16:00	「アイフェスタin浦添」 浦添市産業振興センター(結の街)
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	12日(土)	14:00~16:00	八重山保健所
全国膠原病友の会・沖縄県支部	13日(日)	14:00~16:00	那覇市保健所 3階 多目的室C
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	15日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	19日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(火)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐくる館 参加希望の方は左記迄ご連絡をお願いします。
とぅんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	25日(金)	14:00~16:00	宮古保健所 健康増進室
全国膠原病友の会・沖縄県支部	26日(土)	15:00~17:00	「医療講演会」 那覇市保健所 3階 多目的室A・B
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	27日(日)	13:00~16:00	那覇市保健所3階

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。



中継で沖縄と宮城県でケントミバンドのWebセッション



第10回 日本ALS協会沖縄県支部総会 ご報告

患者団体からのおたより

6月25日(日)に国立病院機構沖縄病院療育ホールにて、第10回 日本ALS協会沖縄県支部総会を行いました。

参加された皆さま、沖縄病院の職員の皆さま、準備から当日までお世話になった方々ありがとうございました。

今年は節目となる設立10回目の総会にあたり「設立からこれまでと、これから」と題し、家族会の設立のきっかけや、立ち上げまでのエピソードの発表がありました。

その後、同日に行われた宮城県支部総会に招かれ出張中の特定非営利活動法人サポートセンターケントミの我如古盛健さん率いる民謡グループ「ケントミ」のライブを宮城県支部総会会場と中継で結び、遠距離でのセッションの第一歩を実現しました。

今年も看護学生のボランティアの皆さんに、会場設営から運営のお手伝いをしていただきました。周囲に支えられながらの総会となりました。ありがとうございました。

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒 島	(黒島)070-5413-8350
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 メール:yuna@kougen-okinawa.jp.org
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	(金城)080-2719-4650
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉) 090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	中村 勉	(島田) 090-3418-7982
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax: 0980-53-1262 中部部会(金 城) 電話: 090-9787-9615 南部部会(譜久島) 電話: 080-1766-2669 那覇・浦添連絡員(國頭) 電話: 080-2773-1571 八重山部会(平良) 電話: 090-5081-5622 宮古部会(伊良波) 電話: 090-8294-6174
神経難病友の会八重山	松藤 純	(松藤)090-6635-4185 (島仲)090-8763-3670
八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会 (宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109
とぅんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰彦	(砂川)080-1536-9287
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	(仲西)090-9585-9259
沖縄サルコイドーシス友の会	祖堅 善樹	(祖堅)090-1941-5758 (仲榮眞)090-6856-9274

編集後記



夏真っ盛り、連日33〜34度の猛暑続きですが、みな様いかがお過ごしですか。くれぐれも熱中症にはご用心ください。そして心配なのは台風です。近年の異常気象もあり台風の大規模化が心配されます。飛来物や洪水対策の他、停電対策もしっかりしましょう。「報告あれこれ」でもご案内しているように、アンビシャスでは毎年、非常時電源確保の勉強会を行っています。人工呼吸器をつけていなくとも、難病により体温の調整が上手くいかない方、定期的な吸引が必要な方など、常に電気を必要とする方は多いと思います。備えあれば憂いなし、しっかりと準備して欲しいものです。

さて、今月の「表紙は語る」は多系統萎縮症の照屋正宏さんをご紹介しました。体力に自信があっただけに、難病と診断されてからのストレスは大きかったと思います。それをいろんな方との関わりの中から、傾聴が相手にどれだけ安らぎを与えるか、またセミナー受講でストレス対処法を学んできた過程が、照屋さんらしい飾らない言葉で語られています。難しい事ですが、私達も相手の声を遮らず、じっくり耳を傾ける様になりたいものです。

2017年 8月の各保健所からのご案内

【北部保健所】Tel:0980-52-2704
 【中部保健所】Tel:098-938-9883
 【南部保健所】Tel:098-889-6945
 【宮古保健所】Tel:0980-72-8447
 【八重山保健所】Tel:0980-82-3241
 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962

8月の予定はございません。

※7月～9月は指定難病/小児慢性特定疾病の更新期間です。
 お手続きは早目をお願いします。

ハローワーク那覇「難病患者就職サポーター」による 出張就労相談のご案内

難病をお持ちの方でお仕事についてお悩みの方、難病をお持ちの方を雇用されている、または、雇用を検討されている事業主の方、就労に関する悩みや疑問、求人に関する職業相談を行います。まずはお気軽にご相談ください。相談は無料です。

- ・難病であることを会社に伝えた方がいいだろうか？
- ・難病患者の就労を支援する制度について知りたい。
- ・どのような職業を選べばよいのか？
- ・難病のある社員の雇用管理。どんな配慮が必要か？ など

【相談日】毎月第3火曜日 14時～16時(1人1時間×2名) ※要予約

【実施場所】アンビシャス

【お申込み・問い合わせ先】沖縄県難病相談支援センター アンビシャス (☎098-951-0567)

「難病患者就職サポーター」からのご挨拶！

2017年5月から「難病患者就職サポーター」としてハローワーク那覇専門援助部門に配属になりました内藺 加代子です。前任者の國仲氏と同様に、難病をお持ちの方々の「働きたい！」



「働き続けたい！」思いを共有し、一緒に解決策を考え一人でも多くの方が就職できるようにサポートします。就労に関して悩まれている当事者の方やご家族をはじめ、支援機関の方や企業の方々も是非ご相談ください。お待ちしております。

【ハローワーク那覇3F・専門援助部門】

住所：那覇市おもろまち1-3-25

Tel:098-916-6205

※サポーター在席日：火・水曜日

(偶数月9:00～16:30、奇数月9:45～17:15)

左：統括職業指導官 座波尚子さん

右：難病患者就職サポーター 内藺加代子さん

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人

●全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々

●驥尾の会 ●株式会社ぽーしょん ●匿名2名

6月のご寄付

●イオン琉球株式会社 ●山城 眞智子 ●オリオンビール株式会社 ●匿名1名

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

6月のご支援・ご協力

●難病情報誌182号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房
 ●てだこボウル ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し
 ●ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社
 ●さわやか歯科クリニック ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会 ●ジョッキハウス
 ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわー ●山城二輪 ●ギャラリーカフェ 海ばたー
 ●しゃしんやさんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
 ●豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA ●沖縄宝島(イオン南風原店1階)
 ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●八重山そばびんだま ●串焼き屋あだん ●上間菓子店
 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア ●全保連コントロールセンター
 ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社かりさら ●メディケアセンター
 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

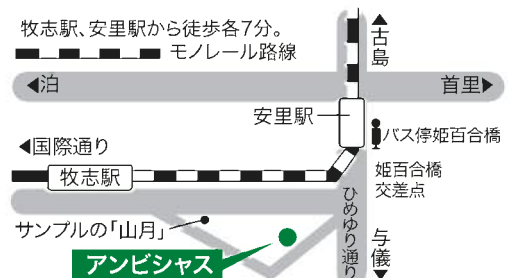
●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所
 ●株式会社クオサ ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
 ●有限会社 翔南石材 ●しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷 ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社 名城
 ●オリオンビール株式会社 ●株式会社ざまみダンボール ●高良登記測量事務所 ●水のサンクス
 ●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●株式会社 長堂材木店 ●株式会社 アース
 ●プログレス ●有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護支援センター ●株式会社 ぽーしょん
 ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜 ●南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水
 ●訪問看護ステーションいのり ●社会医療法人友愛会 ●株式会社大成ホーム

**難病のことをもっと知りたい、それに伴う不安や
家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。**

難病無料相談 (電話・来所・メール・FAX)**☎098-951-0567** ✉info@ambitious.or.jp

平日 10:00 ~ 17:00 (土日祝日・年末年始はお休みです)

ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。



〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)

Tel:098-951-0567 (代表) Fax:098-951-0565 <http://www.ambitious.or.jp>

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒990-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL:098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの楽しさを。
Answer, for you. TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer, for you. TOYOPET

複写機・OA機器リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案



株式会社クオサ
kuosa

本社:〒901-2201 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F
Tel: 098-879-0162 Fax: 098-879-0198
北部営業所:〒905-0016 沖縄県名護市大東2丁目14番3号
Tel: 098-051-1600 Fax: 098-051-1601
宮古営業所:〒906-0014 沖縄県宮古市平良松原534-6
Tel: 098-079-5751 Fax: 098-079-5752

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。



とちかおくちょうさし

土地家屋調査士
伊波 学 098-897-1245

http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

協賛広告のお願い

お申込:アンビシャス事務局
TEL:098-951-0567
e-mail:info@ambitious.or.jp

就労についてのお悩み、
一人で悩まず相談してみませんか？

- ・利用できるサービスを知りたい。
- ・難病であることを周りに伝えた方がいいだろうか？
- ・難病の方の就労にどんな配慮が必要か？…etc

難病をお持ちの方、事業主の方など、
お気軽にご相談ください!! 相談は**無料**です。

沖縄県難病相談支援センター アンビシャス
Tel:098-951-0567 Mail:info@ambitious.or.jp